

住宅

マスタープラン策定



市は3月、市住宅マスタープラン（市住生活基本計画）を策定。3月30日、策定委員会の梅津光男委員長（八戸工業大学教授）が山内隆文市長に同プランを手渡しました。（写真）同プランは、少子高齢化社会に対応した住宅・環境づくりを進めることなど、平成30年度までの市の住宅政策の基本的な方向が示されたものです。

住宅政策の方向を示す計画です

人権

擁護委退任で感謝状



平成16年から2期6年、人権擁護委員を務めた谷地従子さん（山形町・写真）が3月31日で退任。4月6日、法務大臣からの感謝状が贈呈されました。谷地さんは「相談では相手の気持ちを考えて接してきました。今までありがとうございました。谷地さんの後任は、清水頭クニ子さん（山形町）です。

谷地従子さんが退任。後任は清水頭クニ子さん

国体軟式野球競技の準備委員会設立 国体に向け8市町村一丸



8市町村が一つにまとまった設立総会

平成28年に開催予定の第71回国民体育大会「軟式野球競技」の会場地に、久慈市周辺8市町村が内定したことを受け、4月15日、開催準備委員会を設立しました。協力して開催準備を進めることになる久慈市、洋野町、野田村、普代村、軽米町、葛巻町、九戸村、岩泉町から、市町村長や教育長など30人が

出席しました。はじめに山内隆文市長が「8市町村がさらに連携を深め、一体的な取り組みを進めてまいりたいと思います」とあいさつ。設立総会では出席者全員の大きな拍手で、準備委員会の設立が承認され、同会の会長は山内市長が務めることになりました。引き続き開かれた第1回総会では、国体開催を機会に連携を深め、地域のスポーツ・文化を振興するという取り組み方針などを決定しました。国体に向け、一丸となって動き出した8市町村。5月11日13日には、会場の視察に訪れる全日本軟式野球連盟の対応を、9月下旬には千葉県で開かれる国体の視察を行う予定です。

市と幸町町内会が要援護者支援で協定 防災力の向上に期待大



山内市長と握手を交わす八重樫会長（右）

市と幸町町内会（八重樫護会長）は4月7日、災害時要援護者名簿の共有について、個人情報保護に関する協定を締結しました。災害時要援護者名簿とは、避難に支援が必要な一人暮らしの高齢者や心身に障がいのある方などのうち、希望した方を登録した名簿です。名簿は、消防関係者や民生委員など

どに提供し、日ごろの見守りや災害時の安否確認に活用していますが、町内会への提供は初めて。町内会と情報を共有することにより、地域の支援体制の強化が図られます。協定の締結後、山内隆文市長は「情報を共有できることをうれしく思います。皆さんの取り組みが他地区にも広がるよう市も取り組みます」とあいさつしました。八重樫会長は「名簿を活用した防災マップの作成や、要援護者を中心とした避難訓練も実施したいです」と意気込みを語りました。同町内会は平成19年に自主防災組織を結成し、昨年は初の総合訓練を実施。協定締結により、地域防災力のさらなる向上が期待されます。

小久慈学童たんぽぽクラブ開所式 夢の新施設 開所に笑顔



小久慈学童たんぽぽクラブ

- ▶住所…小久慈町21-42-7
- ▶総事業費…3,300万円（国庫補助金を活用）
- ▶施設面積…103.09㎡
- ▶開設時間…①平日12時～19時30分②土曜・長期休暇7時30分～19時30分

小久慈学童たんぽぽクラブの新施設の開所式は4月4日、同所で開かれました。山内隆文市長は「共働き世帯の増加など、学童保育の需要は一層高まっています。安全で安心して子育てができるよう、今後も学校や地域と連携して取り組んでいきます」とあいさつ。同クラブ父母会の高橋和彦会長は「学童クラブは地域になくってはならない施設です。新設の願いをかなえていただき感謝します」と喜びを語りました。入所児童を代表し、日形井奏太くん（小久慈小6年）が「古きよき学童に感謝します。夢に見た新施設を大切に使用させていただきます」とあいさつした後は、関係者7人がテープカット。入所児童やその保護者など、約120人の出席者とともに新施設の誕生

を笑顔で祝いました。開所式後は本年度の入所の入所を歓迎しました。同クラブは昭和62年度の開設。これまで米澤一敏さん（小久慈町）に協力をいただきましたが、施設を刷新していただきました。施設の老朽化が進んだため、今回、新たな場所、新たな施設で事業を進めることになりました。



入所児童など7人が感謝を込めてテープカット

新山根温泉べっぴんの湯が化粧品開発 源泉商品でしっとり美肌



しっとり洗顔石鹸 うるおいミスト

- ▶べっぴんの湯しっとり洗顔石鹸（左）…80g・800円※子どものポディー用にも
- ▶べっぴんの湯うるおいミスト（右）…50ml・1,000円※洗顔後や普段のお肌のお手入れに

新山根温泉べっぴんの湯（村田勉支配人）は、化粧品会社ビケン（東京都）と商品開発コーディネーターの五日市知香さん（盛岡市）と共同開発した、同温泉の源泉を使った洗顔せっけん化粧水が4月17日に発売しました。ポスターには北限の海女と三陸鉄道アテンダントを起用。地域一体となって新商品の売り込みに力を入れます。商品の開発を始めたのは昨年の8月からです。PH値10・8と全国的にもまれな泉質を誇り、美肌の湯として親しまれてきた同温泉の効果が着目しました。

試作を繰り返し、苦労の末に完成した商品は「すべての働く女性のために」がコンセプト。主婦、OLをはじめ農業や漁業を営む女性に使ってもらえるよう保湿力に重点をおいています。商品を使った北限の海女と三鉄アテンダントからは「しっとりとして使い心地がいい」と大好評。村田支配人は「多くの人に使っていただき、地域を売り出していきたいです」と力を込めます。商品は県北沿岸を中心に、道の駅やサークルK、イオンモール盛岡、イオン盛岡などで販売しています。



商品をPRする北限の海女と三鉄アテンダント